2025年4月吉日

関係者各位

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

2025年版「耐火クロス製防火／防煙スクリーン技術標準」の改定について

拝啓 会員各位におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は当協会の事業推進にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、2018年に改定しました「2018年版 耐火クロス製防火／防煙スクリーン技術標準」を、2025年版として下記内容にて改定を行いましたのでご連絡申し上げます。

会員各位におかれましては、何卒趣旨をご理解いただき、ご活用頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 改定の趣旨・目的

当協会が規定する「技術標準及び自主管理規程の策定並びに維持管理に関する規程」に基づく定期的な見直しとともに、重量シャッターの技術標準に重複して掲載されている「設計基準・設計要領・電気施工基準」ならびに、「煙・熱感知連動機構の基準」を削除。また、技術標準とは別に公開されていた「耐火クロス製防火／防煙スクリーンの設置に関するQ&A」を参考資料として包含しました。改定にあたり、建築基準法の改正に基づいた修正等も含め内容を見直し、多くの方々に利用していただけるようにいたしました。

2. 主な変更内容

主な変更箇所、変更内容及び変更理由は「新旧比較表」を別途添付します。

以上

2025年版 耐火クロス製防火/防煙スクリーン技術標準改定の新旧比較表

No	旧内容	新内容	変更理由
第1章 技術基準			
1	建築基準法改正 第14項第一号及び第二号	第19項第一号及び第二号	法改正による項数変更
2	障害物感知装置（自動閉鎖型）	危害防止装置	重量シャッターの JIS 改訂による名称変更
3	－	下部拘束装置の追加	性能評価条件として求められる場合があるため
4	加工及び組立の項目	<削除>	大臣認定品であり、各社で仕様が異なるため
5	塗装の項目 一般、下地処理、さび止め 塗装の文章	各社仕様による。	大臣認定品であり、各社で仕様が異なるため。
第2章 設計基準			
1	設計要領	設計要項 『「重量シャッター技術標準（最新版）」の「第2章 設計基準」「3 設計要項」に準拠する。』とし、内容を削除。	重量シャッター設計基準と内容が重複しているため
2	－	参考資料（設計手順）の追加	他製品の設計基準に合わせて追加
第3章 施工基準			
1	施工検査 －	施工検査基準 社内検査に危害防止装置の作動の状況と確認方法を追加	施工時の性能担保のため
第4章 電気施工基準			
1	適用範囲 電気工事	適用範囲を「重量シャッター技術標準 第5章 電気施工基準に準ずる。」とし、それ以降の電気工事の内容を削除。	重量シャッター電気施工基準と内容が重複しているため
第5章 点検基準			
1	－	防火設備定期検査報告制度の説明を追加	補足事項として追加
2	－	下部拘束装置の追加	性能評価条件として求められる場合があるため
参考資料			
1	－	Q&A と変更履歴の追加	別管理となっていた Q&A を技術標準に追加
その他			
1	「煙・熱感知連動機構の基準」と「関連法規及び規定」の削除		
2	ひな形に合わせて書式を修正		
3	文言、表現の統一		
4	誤記修正		